

# + Viva Kango

Campus News of The Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学

## 第7回

# 大学祭

第七回大学祭が六月二十五日(土)、二十六日(日)の両日、本学構内で行われました。

「愛♥看護博'05く十人十色」というテーマで二〇〇二名の来場者がありました。

一日目、この数日前に日本一が、時折涼しい風が吹く快晴の暑い気温を記録した北見です。中、大学祭が始まりました。毎年楽しみにしている方が多いと評判の「ヘルスチエック」は今年も大勢の来室者を迎え、一般の方々の健康を様々な面から判定しました。野外ステージでは、吹奏楽部による演奏やカラオケ大会、駐車場では若さ溢れる薄荷童子のよさこいソランが披露され、大学祭を盛り上げました。



学内では性について考えるピアッ子クラブによる展示や会合、ボランティア部によるバリアフリーに関する展示が行われました。また、味自慢の模擬店や学外からの参加もあったバザーも盛況に行われました。

二日目、心配された雨も去り、前日に引き続き好天となりました。「ヘルスチエック」はこの日も大人気となり、二日間で合計三五二名の来室者がありました。「看護の体験教室」も九十二名の参加がありました。手洗いの方法や足浴、学習教材イチロー君を使った聴診、心肺蘇生法など日頃の学習成果を十分に発揮した内容となりました。アリーナでは元気一杯のDance Showやパフォーマンス、Z.N.C.によるゴスペルライブが観客を魅了しました。

午後五時からは後夜祭が開かれました。楽しいゲームや心が癒される音楽部によるハンドベル演奏の音色、そして躍動的なライブへと盛り上がり、華麗な打ち上げ花火を最後に充実した全日程を終えました。

大勢の来場者が学生と共にそれぞれの楽しみ方を見つけて過ごしたことでしよう。大学祭のために数ヶ月前から準備し、時には徹夜して取り組んだ実行委員を中心とした学生の皆さん、そして陰ながら支援した教職員の皆さんお疲れ様でした。

## Cross Hearts Festival ~愛♥看護博'05 十人十色~



# 学生・大学院生の声



看護学部1年  
鈴木 歩維

## 入学してからの三ヶ月を振り返って

私が北見に来てからもう三ヶ月がたちました。この三ヶ月は文字通りあつという間に過ぎていったような気がしました。

大学生生活は何もかもが初めてのことばかりで不安も多く、戸惑ってはかりでしたが、今では一人の生活にも慣れ、楽しい日々を過ごしています。

サークルでは、とても面白く良い先輩や友達にも囲まれ、毎週サークルに行つて体を動かすのが楽しみで仕方がありません。

最近では大学祭もありました。私は実行委員で装飾係として活動しました。同じ実行委員の仲間や先輩に支えられて、とても良い大学祭になったと思います。

これからの大学生活も、もっともっと楽しいものにするために積極的に色々なことにチャレンジしていきたいです。



看護学部4年  
東堂 愛

## 実習を通して

実習を終え、一番心に残っているのは老人看護学実習です。

患者さんはパーキンソン病によって、表情が作りにくく小声になっており、上手くコミュニケーションをとることができず、に苦労し、悩むこともありましたが、しかし、三週間という長い間患者さんと向き合い、疾患による影響をとらえることで、患者さんは疾患によって表情などは障害されていますが、元は私達と同じように健康で過ごしているときもあり、疾患を抱えたことで今の状態があることに気づくことができました。そのため、患者さんのありのままを受け入れ関わることができました。

実習はつらい時もあります。が、色々な患者さんと出会い、温かさに触れ、その度に看護の喜びを得ることができ、看護師を目指して良かったと思うことができるようになりました。



看護学研究科1年  
佐藤 千秋

## 一念、天に通ず？

看護学研究科基礎看護学領域にて一知半解な自分の知識を深めるため勉強中です。

物事を深く学ぶ楽しさを実感しながらも、授業におけるプレゼンテーションやレポート提出等は知識・学力不足から苦慮する毎日が続いています。

新しい環境の中で頼もしい学友の存在は大きく、力をかりつつ何とか三ヶ月が過ぎました。

大変なことも多いですが実践を経験し再び専門性を学ぶことは、自分の看護を振り返る良い機会となっています。

日々「二年で卒業」を一念し、これからのつらく長い研究活動に進んでいきたいと思っています。

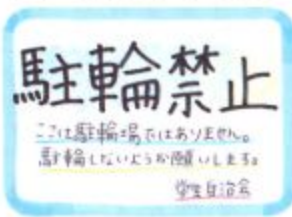


# 自治会コーナー

自治会会長 上田陽子

こんにちは。自治会長の上田陽子です。現在自治会役員は一年生五名、二年生二名、三年生八名の計十五名で活動しています。

現在、自治会では駐輪マナーの向上に力を入れて取り組んでいます。呼び掛けではあまり効果がなかったため、駐輪マナーを違反している人の自転車に、自治会で作成した「駐輪マナーを守りましょうシール」を貼り、マナーを守ってもらえるように促しています。今後とも状況を見ながら様々な改善策を実行していく予定です。



者の意見については改善されたように思いますが、後者の意見については、まだ改善されていないようです。もちろん敷地内全面禁煙のマナーを守ってくれる方はちゃんといいますが、数人の人々が守れていないようです。自治会で改善策を検討しましたが、喫煙者を見張る訳にもいかないので、一人一人が敷地内全面禁煙ということを意識して協力してもらいましょう。今までの習慣を急にやめることは大変だと思いますが、ご協力をお願い致します。

また、本年一月一日から敷地内全面禁煙になりました。学生に喫煙に関するアンケートを取ったところ、喫煙室以外の場所が煙草臭い、学生玄関前で喫煙している人がいるなどの意見がありました。前



# クラブ紹介

## 吹奏楽部

相馬裕子



私たちは、昨年十一月に吹奏楽部を設立しました。部員は十三名で、活動は北見工業大学吹奏楽部と合同バンドを組み、年二回の演奏会開催やコンクール出場などを行っています。他にも、個人・アンサンブルコンクールへの出場や新入生歓迎会での演奏など、看護大生だけで行う活動も取り入れています。サークルの雰囲気は明るく、楽器未経験者でも楽しめます。そして何よりも、一つの曲をみんなの力でつくり上げた時の感動と達成感は、吹奏楽を経験してこ

そ味わえるものです。吹奏楽に興味がありやってみたいと思う人、何か一つの事に打ち込んでみたいと思っている人など、経験・未経験は問いません。私たちと一緒に音楽を楽しんでみませんか？

## ピアノクラブ

谷かおり

私たちピアノ子クラブは、現在二年生五名一年生三名の計八名で週一回程度活動しています。具体的な活動内容は、中高生等

の若年者を対象に性病や避妊中絶等の性についての正しい知識を身につけてもらい、さらに性について一緒に考えて行くことを目的とした会合を開いています。現在、大学祭以外で会合を設けたことがないため、今後は実際に高校にいったり会合を開いてみたいとも考えています。ピアノとは仲間を意味する言葉です。先生に教わるだけではなく自分たち自らが仲間という感覚で真摯に性について語り合い理解を深め、自らの身体を大切にして欲しいと私たちは考えています。



## 日本小児看護学会 北海道地方会のご案内

「子どもの主体性を尊重する看護の実践に向けて」をメインテーマに、来る九月三日(土) 四日(日) 本学を会場に開催します。

学会の目玉となる特別講演は一般市民の方にも参加を呼びかけています。(参加費無料) 講師の蝦名美智子氏(札幌医大小児看護学教授)は、子どもの医療処置にも説明・納得が必要であり可能であることを実践的に研究され成果を上げています。その他に「命の大切さを子どもたちに伝える」「慢性疾患と学童期」「母乳哺育を考える」の三つのテーマセッションを行います。二日目は看護研究発表を行います。詳細は学内掲示(学内ネットワーク・小児看護学)をご覧ください。

一人でも多くの方に関心を寄せていただき、子どもと家族の問題とその対応について、一緒に考えたいと思います。皆様の参加をお待ちしています。

準備委員会代表 上野美代子

問合わせ・申込み(当日参加可) 母子看護学講座内日本小児看護学会北海道地方会事務局 do-jchn@rchokkaido-cn.ac.jp

## シリーズ 研究と私



助教授 山本 恵志

看護系ではなく体育会系の私に突然の原稿依頼が来てしまった。少々分野の違う話になるがお許し頂きたい。

私は剣道で日本一になることを夢見て日本体育大学に進学した。しかし一軍には選ばれたものの、レギュラー枠一〇名には残れなかった(ちなみに剣道

部員は二〇〇名である)。そんな学生生活にも飽きていた頃、知的好奇心を駆り立ててくれた科目があった。それが石井喜八先生の「キネシオロジィ(Kinesiology・身体動作学)」である。これは解剖学、生理学、運動力学といった知識を活用し、身体運動のメカニズムを解析するという講義であった。「俺が大学で勉強したかったものはこれだ！」と大学院の石井研究室の門を叩いた。

研究室では毎日昼休みになると洋書を全員で輪読していた。また月曜と金曜は朝八時からデーター検討会と抄読会がそれぞれ行われた。我々院生が机に向かっている間に、論文は家に帰ってから読む。実験装置は家

には持ち帰れない。研究室では実験を行いなさい」と一喝された。当時の研究室は活発に実験を行い、論文を量産し、高い評価を得ていた。そんな研究チームの一員に成れたというプライドも出来た。研究室には助手時代を含め七年間お世話になった。桃栗三年柿八年ではないが、この七年間で研究者として食っていく礎を築いて頂いた。石井先生の元を離れる時「体育学の中で満足せず、他分野でも認められるような仕事をしなさい」と言われた。

現在、幸いにして医学、工学、看護学の先生方と仕事をさせて頂いている。今後も「研究」する人生を歩んでいく所存である。

## 第6回公開講座開催 21世紀の健康づくり

～救急・災害事態にそなえて～

### ●開催日時・内容・講師

開催日	時間	内 容	講 師
第1講 9月7日(水)	午後6時30分～8時	健康であること ～身体と心を見る・診る～	教 授 長谷部佳子
第2講 9月14日(水)		救急箱の薬理学 ～もしもの時の薬の知識～	助教授 根 本 昌 宏
第3講 9月21日(水)		市民が市民を 救うために	教 授 河原田榮子
第4講 9月28日(水)		家族にできる 高齢者の健康支援	講 師 福 家 修 子
第5講 10月5日(水)		災害時のこころのケア	助教授 尾山とし子

- 開催場所 日本赤十字北海道看護大学
- 対象者及び定員 一般市民60名(18歳以上、管内全域を対象とします)
- 受講料 1,000円
- 申込期限 平成17年8月31日(水)まで
- 問合わせ 日本赤十字北海道看護大学 教務課  
TEL(0157)66-3311 FAX(0157)61-3125

# 学生の課外活動紹介



看護学部四年  
長谷川可奈

## ヨサコイとともに 充実した四年間

私は大学に入学してから四年間、「薄荷童子」というヨサコ

イチームに入り、十八歳から五十代まで幅広い年齢の方と楽しく笑顔で踊っています。  
四年の実習の事を考え去年の札幌ヨサコイ祭りです最後にしたつもりでしたが、またメンバーと一緒に札幌で踊りたいという気持ち強く、行かないと後悔すると思う思いに、意を決して参加しました。練習と実習の両立は厳しいものがありました。メンバーの支えと協力により、札幌では思いっきり楽しく踊り

弾けることが出来ました。ファイナルには残れませんでした。



「薄荷童子に参加している本学学生27名」

したが、悔いなく心から楽しく踊れ完全燃焼し、最後の本祭を笑顔で踊りきりました。四年間このチームで踊り続けて本当に良かったと思いました。

### 事務局から

### 夏季の軽装励行

本学では、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に対応して執務中は軽装とし原則ネクタイ、上着を着用しないことになりました。

ご理解の程お願い致します。この軽装励行期間は、六月一日から九月三十日までです。

平成18年度

## 大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程学生募集について

### 1. 募集人員

試験区分	募 集 人 員
1 期	6名(女・男)
2 期	若干名(女・男)

### 2. 募集専門系(領域)

- 基礎看護学系……基礎看護学領域
- 実践看護学系……成育看護学領域、急性期看護学領域、地域看護学領域
- 臨床薬理看護学系……臨床薬理看護学領域

### 3. 入学試験日程

試験区分	出 願 期 間	試験日
1 期	平成17年 9月1日(木)～9月20日(火) 出願締切当日の消印有効	平成17年 9月25日 (日)
2 期	平成18年 2月1日(水)～2月20日(月) 出願締切当日の消印有効	平成18年 2月26日 (日)

### 4. 試験科目

- (1) 専門科目(志願する各専門領域に対する試験科目)
- (2) 外国語科目(英語)
- (3) 面接

問合わせ先: 学生課入試係(0157)66-3311(代)

日本赤十字北海道看護大学学内誌

+ Viva Kango

第14号

発行日/2005年7月25日

編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1  
Tel.0157-66-3311 Fax.0157-61-3125  
mail to: kouhou@rchohokkaido-cn.ac.jp  
http://www.rchohokkaido-cn.ac.jp

### 編集後記

例年になく遅く来た春でしたが、気が付くと半袖が似合う季節となりました。

今回の+ Viva Kangoは、大学祭の記事を中心に学生や教員からの言葉とクラブ紹介から構成されています。大学祭やクラブ活動は授業では窺い知れない、学生の可能性を垣間見せてくれる場です。また研究テーマは出会いから始まるというのも示唆に富むお言葉です。これらに加えて希望に胸をふくらませて入学・進級した学生の声を読んでいただき、初心を忘れないで、さまざまな活動に励んでいただければ幸いです。次号は来年一月の発行を予定しています。ご意見やご感想がありましたら、お寄せ下さい。